

< J Aバンク中央アカデミー >

全国研修のご案内 (No.1110、No.1270)

不祥事防止指導実践研修 A・B

～ 県域での不祥事防止研修に向けた知識・手法を習得するための講座～

- 「不祥事ゼロ運動」に基づく県内での信用事業の不祥事防止取組指導に必要な基礎知識を身に付けたい方。
- 県内 J A で不祥事につながりかねない事務の不備がなかなか改善されずにお悩みの方
- 主に信連等の不祥事防止指導部署で、県内 J A 向け「不祥事防止研修会」等の講師を担う職員の方の受講をお奨めします。

○ 日 程 (各班 3 日間)

A 班 2022年 6月 6日 (月) 13:30 ～ 8日 (水) 15:40 (オンライン研修)

B 班 2022年 7月19日 (火) 13:30 ～ 21日 (木) 15:40 (オンライン研修)

○ 開催方法

ウェブ会議システム「Webex Meetings」によるオンライン研修

○ オンライン研修に関する留意事項

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。
- ③ 本研修は、ウェブ会議システム上でのグループワークを予定していますので、極力、受講者毎に1端末で受講してください。(1端末で複数名の受講の場合は、他県域とのグループワークができない場合がありますので、ご注意ください。)

○ 研修のねらい（こんな時）

J Aにおける不祥事発生件数は、依然として撲滅には至っておらず高い水準にあります。農協改革によりJ Aグループが注目される中、不祥事はJ Aの信頼性にこれまで以上に大きな影響を与えかねません。J Aが農協改革に対応して存続していくためには、その土台として不祥事を未然に防止できる組織づくりが必須であり、信用事業としても十分な指導が必要です。

本研修では、「なぜ必要か」（趣旨・目的）に重点を置いた説明により受講者の不祥事防止に向けた対応の理解を深めるとともに、受講者が研修資料を持ち帰り、県内J Aに対して研修・指導できるようにすることを目標としています。

○ 想定する受講対象者

信連等の不祥事防止指導部署の職員

※ 主な対象者として、県内J A向け「不祥事防止研修」講師を担う方を想定しています。）

○ 考え方（研修の骨格）

受講者の皆さんが県内J Aに対する研修開催等を含め、J Aへの不祥事防止取組指導を行うために必要な知識とスキルを学んでいただけるよう2部構成としております。

前段では、弁護士の川西講師から、①不祥事件の実例と近時の傾向、金融行政の対応等を講義の後、②不祥事件発生時の対応につきケーススタディを交え、最後に③不祥事件防止態勢の構築に向けた対応を学んでいただきます。

後段では、公認会計士の山城講師から、「意識醸成」と「仕組み」の2面から、不祥事防止に向けた指導ポイントを学んでいただきます。不祥事防止の「仕組み」として、事務手続のほか、事務手続の運用を支える事務リスク管理態勢をテーマとします。事務手続については、事務の趣旨を含めて周知徹底する必要性とその方法を学ぶことにより、改善が進まない事務の指導に役立れます。事務リスク管理態勢については、具体的なJ Aでの失敗事例をふまえて態勢整備のポイントを学ぶことにより、J Aが自立的に不備を発見して改善を図るための基盤の指導に役立れます。いずれも座学に終始せず、他県域との意見交換などワークショップの時間も十分に設け、座学の腹落ちや新たな気づきを得る場として活用いただきます。

受講者は、本研修資料から必要なページを抜き出して県内J A向けの研修に使用することが可能です。

○ 関係者の声

(川西講師から)

お客様の大切なお金をお預かりする金融機関において、不祥事件の防止は、避けて通ることのできない重要なテーマです。本研修では、私が、金融検査官として、また、弁護士業務の中で体験した不祥事件の実例を数多く紹介しながら、皆様とのケーススタディを通じて、現場の職員が「不祥事件を起こそうと思わない環境づくり」について、考えてみたいと思います。皆様とお会いできることを楽しみにしております。是非、積極的にご参加ください！

(山城講師から)

不祥事の防止は、意識醸成と仕組みの両輪で対応する必要があります。不祥事防止のための仕組みとして、本研修では事務リスク管理態勢も取り上げます。事務リスク管理態勢は、JAにおいて自立的に不備を改善する、いわゆるPDC Aサイクルを有効に機能させることをいい、事務手続を適切かつ継続的に運用していくために不可欠です。

重要な事務手続がJAになかなか定着しないとお悩みの皆様、是非研修に参加いただき、指導にご活用ください！

(昨年アンケートから)

- 講師お二方とも経験によった実例が多く盛り込まれていたもので、イメージしやすく、今後のJA指導に役立てそうです。
- 他の地域の状況を聞けたり、演習もあつたりと理解しやすい内容となっていたと思います。この研修で学んだことを業務に活かしていきたいと思いました。
- 不祥事防止の意義、発生時の対応等、よく理解できました。

○ 研修講師紹介 (出講順、敬称略)

川西 拓人 (かわにし たくと)

<略歴>

平成15年に弁護士登録。同年、御堂筋法律事務所に入所、2008年(H20)から2010年(H22)まで金融庁検査局勤務。2015年(H27)からのぞみ総合法律事務所勤務。

現在、JAバンク中央アカデミー経営者コース・部長コースの講師として活躍中。

山城 文男 (やましろう ふみお)

<略歴>

有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー、JA支援事業ユニット 公認会計士。20年以上に亘り上場企業の会計監査のほか、金融機関に対する会計監査、株式公開支援業務、J-SOX導入コンサルティング等に従事。

2012年よりJAグループの役員向け研修、内部監査研修、3者要請検査対応研修等のコンテンツ作成、講師を務めるほか、単位農協向けの内部管理態勢調査等に従事する。

日本公認会計士協会、非営利法人委員会、農業協同組合専門委員会では専門委員を務めた。

○ 研修プログラム（予定） ※プログラムの内容は変更となる可能性があります。

セッション名		内 容	講 師
【1日目】（13:00 から接続開始）			
13:30	<開講> ○金融機関不祥事の現状 ○不祥事件とは ○実例と近時の傾向 ○発生のメカニズム ○金融行政の対応 ○ケーススタディ	・金融機関不祥事の原因分析 ・農協法における不祥事件の定義 ・不祥事件の類型と近時の傾向等 ・営業店における動機・機会の所在等 ・発生時の行政処分の基準 （個人ワーク）	・川西講師
17:00	（終了）		
【2日目】（9:00 から接続開始）			
9:30	○不祥事件発生時の対応 ○防止態勢の整備とその落とし穴 ○不祥事防止態勢の構築	・発生時の調査方法とその限界 ・金融検査結果事例の分類等 ・より高度な防止態勢構築に向けて	・川西講師
13:00	○コンプライアンス	・コンプライアンスとは ・コンプライアンス遵守のための取組み ・コンプライアンス遵守のために支店長に期待される役割 （個人ワーク）	・山城講師
15:00	○事務手続	・内部統制とは ・重要な事務手続の解説	
17:00	（終了）		
【3日目】（9:00 から接続開始）			
9:30	○事務手続（つづき）	・事務手続の不備発見のコツ（個人ワーク）	・山城講師
10:00	○事務リスク管理態勢	・事務リスク管理態勢とは ・事務リスク管理態勢整備のポイント （個人ワーク）	
13:00	○事務リスク管理態勢（つづき）	・事務リスク管理態勢整備のポイント（つづき）	
15:00	○後段部分のまとめ	・原因分析のコツ（個人ワーク）	
15:30	アンケート記入（15:40 解散）		

○ 募集人員

定員 24名

- ※ 応募人数が大幅に定員を上回った場合は、受講をお断り・調整する場合がありますので、予めご承知おきください。
- ※ 応募人数が10名を下回った場合は、開催を中止させていただくことがあります。
- ※ 正式なご案内は、事務の都合上、3週間前頃の送付となります。

○ 参加費用（予定）（消費税込）

	金額	備考
受講料	42,790円	教材費を含みます。
宿泊代	—	
食事代	—	
合計	42,790円	

○ オンライン研修の受講端末について

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② ウェブ会議システム上でのグループワークを予定しています。極力、受講者毎に1端末で受講してください。また、同じ会場で複数の端末を使用する場合は、マイク付きイヤホンを使用するなどハウリング防止対策を講じてください。
- ③ 通信環境の良い場所で受講してください。通信速度は以下のサイトで測定できます。
(参考) USEN のスピードテストサイト⇒<https://speedtest.gate02.ne.jp/>
上記サイトの判定結果のうち「ビデオ会議」が「快適」だと比較的安定します。
※ 農林中央金庫が配布した iPad では、上記サイトにアクセスできません。ドコモ回線(4G)を利用して測定してください。

○ 申込みの方法

4月28日(木)までに以下の方法でお申込みください。

お申込み	申込方法
信農連・1JA県JA	「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。
農林中金本支店	N-Style より農林中金系統人材開発部へお申込みください。

以上

【本件にかかる照会先】（極力メールでご照会ください）
（株）農林中金アカデミー 研修企画部 全国研修担当 山口・安達
メール：kensyu@nc-academy.co.jp
電話：4/15まで 03-3217-3420
4/18以降 03-6457-8917